

○ 委員長報告

2月定例会本会議で報告された総務企画委員長報告は、以下のとおりです。

平成31年2月定例会

総務企画委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、働き方改革・行政事務効率化推進費についてであります。

このことについて一部の委員から、この事業の具体的な取組内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、本事業では、県民の多様なニーズや高度・複雑化する業務に対応しつつ、長時間労働の是正や業務効率化を実現するため、最新IT技術の活用や総務系事務の外部委託等を推進することとしている。

具体的には、県民からの問合せに24時間365日対応可能なAIを活用した窓口応答システムの導入実証に取り組むとともに、各所属におけるAIやRPAなどの活用を促進するため、民間アドバイザーによる技術支援を行うほか、給与・手当等の総務系事務の効率化に向けて外部委託や電子化等の抜本的な見直しを検討することとしている旨の答弁がありました。

第2点は、E-BIKE（スポーツ型電動アシスト付自転車）の普及についてであります。

このことについて一部の委員から、E-BIKEの普及に向けた来年度事業の取組内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、シニア層、女性層の獲得による裾野拡大や、新たなツーリズムの創出に向け、しまなみ海道地域や佐田岬地域等を対象に、各自転車メーカー等の協力のもと、実証実験として、レンタル用E-BIKEの配備や充電スポットを設置し、安全面も考慮した利用環境の整備を検討するとともに、利用者拡大に向け、旅行雑誌等を対象としたメディアツアーによる情報発信等を行う予定である。

なお、事業展開にあたっては、全国に先駆けた取組みとして、官民連携組織を設置し、関係者との緊密な連携のもと、E-BIKE先進県のイメージを定着させるとともに、安全で幅広い層が楽しめるサイクリング環境の構築を目指したい旨の答弁がありました。

第3点は、デジタルマーケティングについてであります。

このことについて一部の委員から、来年度のデジタルマーケティング事業の具体的な内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、今年度の事業成果を踏まえ、デジタルマーケティングを戦略的に展開していくこととしている。具体的には、人材育成と基本戦略の共有を図るため、推進会議や勉強会の開催など全庁的なデジタルリテラシーの向上に取り組むとともに、今年度実施したモデル事業の分析結果を踏まえ、テーマ性を深化させ、インバウンド誘客やサイクリスト誘致、すご味・すごモノなどの県産品販売促進の3分野で施策展開を図り、認知拡大や来訪意欲の向上等を促進することとしている。

さらに、それぞれの施策で得られたデータを蓄積・リスト化し、効果的な情報発信等に活用する、全国初の仕組みとなる「データマネジメントプラットフォーム」を構築する予定である旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ えひめチャレンジオフィス（仮称）の設置
- ・ 平成31年度の県税収入
- ・ 財源対策用基金の状況と今後の積立て
- ・ 県・市町連携「チーム愛媛」推進事業費
- ・ 地域公共交通の再編
- ・ 岡山理科大学獣医学部

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願4件については、いずれも願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。